

2024年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	いまはし ひろし					
教員氏名	今橋 裕		職 位	准教授	学 位	博士（学術）
アルファベット表記	IMAHASHI HIROSHI					
専門分野		技術経営論、イノベーション・マネジメント、イノベーション論				
研究課題	テーマ	日本製造業における B to B 率及び研究開発多角化と収益性の関連性分析				
	概要	日本の製造業全業種について、経済産業省の産業連関表など公的データから B to B 率という新たな指標を用いて、スマイルカーブ化の検証及び研究開発多角化の度合いと収益性との分析を実施している。				
本年度 研究業績	研究テーマ	日米製造業の収益性の検証、伝統産業における海外ブランドとの融合に関する研究の実施				
	経過と到達点	日米製造業の収益性の検証については、共同研究者と共に継続中である。 伝統産業における海外ブランドとの融合に関する研究については、学会発表を実施した。				

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文	近年の米国企業における研究開発・設備投資と収益性の実証分析	2024年 11月15日	共著	日本経営システム 学会誌 Vol.41 No.2 pp.99-104 (2024年度)	米国企業の研究開発投資及び設備投資と収益性について定量分析を行い、収益性の検証結果について、査読論文（事例研究）として掲載された。
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート、専門誌記事等					

⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)	米国企業の研究開 発・設備投資と収 益性の実証分析	2024年 9月4日	単著	京都経済短期大学 経営・情報学会 研 究報告会	米国企業の研究開発投資及び 設備投資と収益性について定 量分析を行い、収益性の検証結 果について研究を実施した。そ の内容を報告した。
	伝統産業における 海外ブランドとの 融合に関する事例 研究—西陣連合青 年会におけるケイ パビリティー	2024年 12月8日	共著	第73回 日本経営 システム学会全国 研究発表大会(場 所: 広島・広島工業 大学)(2024年度)	伝統産業における海外ブラン ドとの融合に関する事例研究 について、ファーストオーサー として口頭発表を実施した。

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。			

2. 教 育（本年度のみ）

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	イノベーション論、観光概論、 編入対策特講Ⅱ（経営）	生産管理論、経営学総論
	演習	基礎ゼミナール、ゼミナールⅡ、 ゼミナール特別活動	ゼミナールⅠ、ゼミナールⅢ、 ゼミナール特別活動
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 講義中に動画を用いて視覚的に理解を深めることや、レポート課題を充実させることで、学生にとって身の回りのことと勉強を結び付けて考えてもらうように工夫をした。		
	◆ 演習科目 ゼミナール活動については、レポートの書き方やプレゼンテーションの方法など、アカデミックライティングの演習・講義を重点的に行った。 また、講義時間の他に適宜、就職活動や編入学活動における相談事項に対応した。例えば、履歴書・志望理由書の添削やアドバイス活動、面接練習の実施など、学生の将来への不安の取り除きや、各種の自己肯定感を持ってもらうために学生に寄り添ってサポートを行った。		
	実習科目		
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。） ほぼ毎週の講義最後に Google form と QR コードを用いたアンケートを実施した。翌週にアンケート結果を受講生と共有しながら講義を進めて、学生と積極的なコミュニケーションを図った。		

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	・大阪大学大学院 工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 招へい教員（2019年5月～継続中）

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

(3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

4. 特記事項（本年度のみ）

学内委員会 (1) 編入学委員会 委員長 (2) 図書・学会委員会 委員 (3) 教学委員会 委員（相談室担当） (4) 執行部会 委員
--